ターミナルバリュー（TV）を理解する

期間が長くなると、予報は暗くなります。これは、特に将来の会社のキャッシュフローの見積もりに関しては、財務にも当てはまります。同時に、ビジネスを評価する必要があります。これを「解決」するために、アナリストは、割引キャッシュフロー（DCF）などの財務モデルを特定の仮定とともに使用して、ビジネスまたはプロジェクトの合計値を取得します。

割引キャッシュフロー（割引キャッシュフロー）は、実現可能性調査、企業買収、株式市場の評価で使用される一般的な方法です。この方法は、資産の価値がその資産から受け取る将来のすべてのキャッシュフローに等しいという理論に基づいています。キャッシュフローは、金利などの資本コストを表す割引率で現在価値に割り引く必要があります。

無料の外国為替シグナル

DCFは、予測期間と最終値の2つの主要コンポーネントで構成されます。推定期間は通常約5年です。それより長いものは何でも、予測の正確さは損なわれます。ここでは、端末の値を計算することが重要になります。

[free forex trading signals](https://www.freeforex-signals.com/%22%20%5Ct%20%22_blank)

最終コストを計算するために一般的に使用される2つの方法があります。永続的な成長（ゴードンの成長モデル）と複数の出力です。 1つ目は、ビジネスが永久に一定のレートでキャッシュフローを生成し続けることを想定し、2つ目は、ビジネスがいくつかの市場指標の倍数で販売されることを想定しています。投資の専門家は複数のアプローチを好みますが、科学者は永続的な成長のモデルを好みます。

ターミナル値タイプ（TV）

永遠の方法と無料の外国為替取引シグナル

一時的な金額は、特定の金額の現在価値と将来価値の間に不一致を生じさせるため、割引が必要です。事業を評価する場合、一定期間の純現金収支や配当を予測することはできますが、予測が将来に広がるにつれて、現在の問題の結果を推定することはより困難になります。さらに、会社が操業を停止する可能性のある正確な時期を特定することは困難です。

これらの制限を克服するために、投資家は、キャッシュフローが将来のある時点から始まり、永久に安定した速度で成長すると想定することができます。これが究極の価値です。

ターミナルのコストは、最後に予測されたキャッシュフローを割引率とターミナルの成長率の差で割ることによって計算されます。最終コスト見積もりは、予測期間後の会社の価値を見積もります。最終値の計算式::

[free forex signals](https://www.freeforex-signals.com/)

（FCF \*（1 + g））/（d --g）

どこ：

FCF =最後の予測期間のフリーキャッシュフロー

g =最終成長率

d =割引率（通常は加重平均資本コスト）

最終的な成長率は、会社が永遠に成長すると予想される一定の率です。この成長率は、割引キャッシュフローモデルによるキャッシュフローの最後の予測期間の終わりに始まり、永遠に続きます。長期インフレ率に対応しますが、国内総生産（GDP）の過去の成長率より高くはありません。

外国為替取引シグナル無料

いくつかの方法を終了します

投資家が限られた取引ウィンドウを想定している場合、無期限の成長のモデルを使用する必要はありません。代わりに、最終的なコストは、その時点での会社の資産の正味実現可能価額を反映する必要があります。これは多くの場合、株式が大企業によって取得されることを意味し、取得コストは多くの場合、複数の利回りで計算されます。

<https://www.freeforex-signals.com/>

利回り比率は、売上高、収益または利息収入、税金、減価償却費（EBITDA）などの財務統計に、最近買収された同様の企業に共通の比率を掛けることによって公正価格を測定します。投資銀行の価値の公式は、しばしばこの評価方法を使用しますが、一部の批判者もいます。複数出力方式を使用する端末は、最後のメトリック（つまり、売上、EBITDAなど）に受け入れられた倍数（通常、他のトランザクションの最後の複数出力の平均）を掛けたものです。独自の相対的な評価方法を同時に使用することには消極的です。